

第30回 西之切保護者会

(1) 令和六年 天王祭について

1. 実施要項 . . . 別紙『令和六年 天王祭 西之切 実施要項(小中高生向け)』
2. 山車曳行コース . . . 別途配布 ※2日間曳行
3. 当日出欠について . . . QRコード①の登録フォームより登録をお願いします。

(2) 令和六年 情報サイト . . . QRコード②のページにて雨天時の稽古実施有無確認などをお願いします。

(3) 質疑応答、ご要望等

(4) 新たにご参加される方へ

1. 西之切奉賛会について . . . 別紙『西之切須佐之男社奉賛会組織図』
2. 年間予定について . . . 別紙『西之切少年部年間予定表』
3. 祭礼当日の小学生衣装について . . . 貸出 : 1,000円(棒締め後に対応)
反物購入 : 8,000円
QRコード③のページにて
帯・足袋・雪駄の購入先をご案内します。
4. 祭礼や行事の案内、お知らせ . . . 携帯メールにて実施します。
QRコード④の登録フォームより
お子様・保護者様の情報入力を
お願いします。

(5) QRコード

①令和六年 天王祭
参加登録フォーム



②令和六年 天王祭
お知らせページ



③西之切
中高生/小学生 衣装



④西之切
登録フォーム



(6) 青年部 連絡先

部長

高木 直人

090-5636-7010

以上

令和六年 天王祭 西之切 実施要項（小中高生向け）

令和六年5月11日（土）

西之切青年部

①令和六年 出来町天王祭 要旨

1. 出来町天王祭、その他イベントについて

- ・3町（西之切・中之切・古出来）揃っての山車曳行を実施（昨年は中止、各町にて自由曳き）
- ・徳川園山車揃え 実施（昨年は中止）

2. 西之切での山車曳行について

- ・目的：疫病退散、伝統の継承（複数年中止による人的・技術的断絶の不安解消）、新調した楫棒の披露
- ・まん延防止等の宣言の取り扱い：稽古期間中および祭礼当日に発令中の場合、山車曳行は中止

②稽古（●：青年部＝中学生以上のみ対象）

種別	項目	例年	本年
日程	開始日	GW明けすぐ	5月9日（木）
	間隔	毎日	同左
	時間帯	19:30～21:00 ●青年部以上～21:30	19:30～20:40 ●青年部以上～21:10
	雨天時	実施	同左
場所	棒締め前	会館内	会館外
	棒締め後	会館外	同左
	内囃子	町内宅に依頼し実施	なし
休憩	時間帯	20:00～20:10、20:30～20:40	19:50～19:55、20:15～20:20
	お菓子・お茶	提供あり	提供なし（水筒持参）※終了時お菓子配布
お囃子	小学生	—	個人用ばち配布
	笛	—	制限なし
	感染対策	—	制限なし
その他	4年生以上の楽器変更	稽古初期に変更可能	同左
	健康上の留意	体調不良者は欠席	同左
	稽古期間中の感染者確認時の対応	—	制限なし
	お囃子体験会	GW前に開催	9日～11日にて実施

＜参考＞稽古タイムテーブル

1 9 .. 3 0	3 5	4 0	4 5	5 0	5 5	2 0 .. 0	0 0	1 0	1 5	2 0	2 5	3 0	3 5	4 0	4 5	5 0	5 5	2 1 : 0 0	0 5	1 0
車 切	人 形 囃 子	車 切	人 形 囃 子	◆ 休 憩 ◆	神 樂	人 形 囃 子	神 樂	人 形 囃 子	◆ 休 憩 ◆	早 神 樂 ・ 下 り 端	人 形 囃 子	帰 り 囃 子	人 形 囃 子	終 了	◆ 休 憩 ◆	◆ 休 憩 ◆	青 年 部 以 上	青 年 部 以 上	青 年 部 以 上	終 了

令和六年 天王祭 西之切 実施要項（小中高生向け）

令和六年5月11日（土）

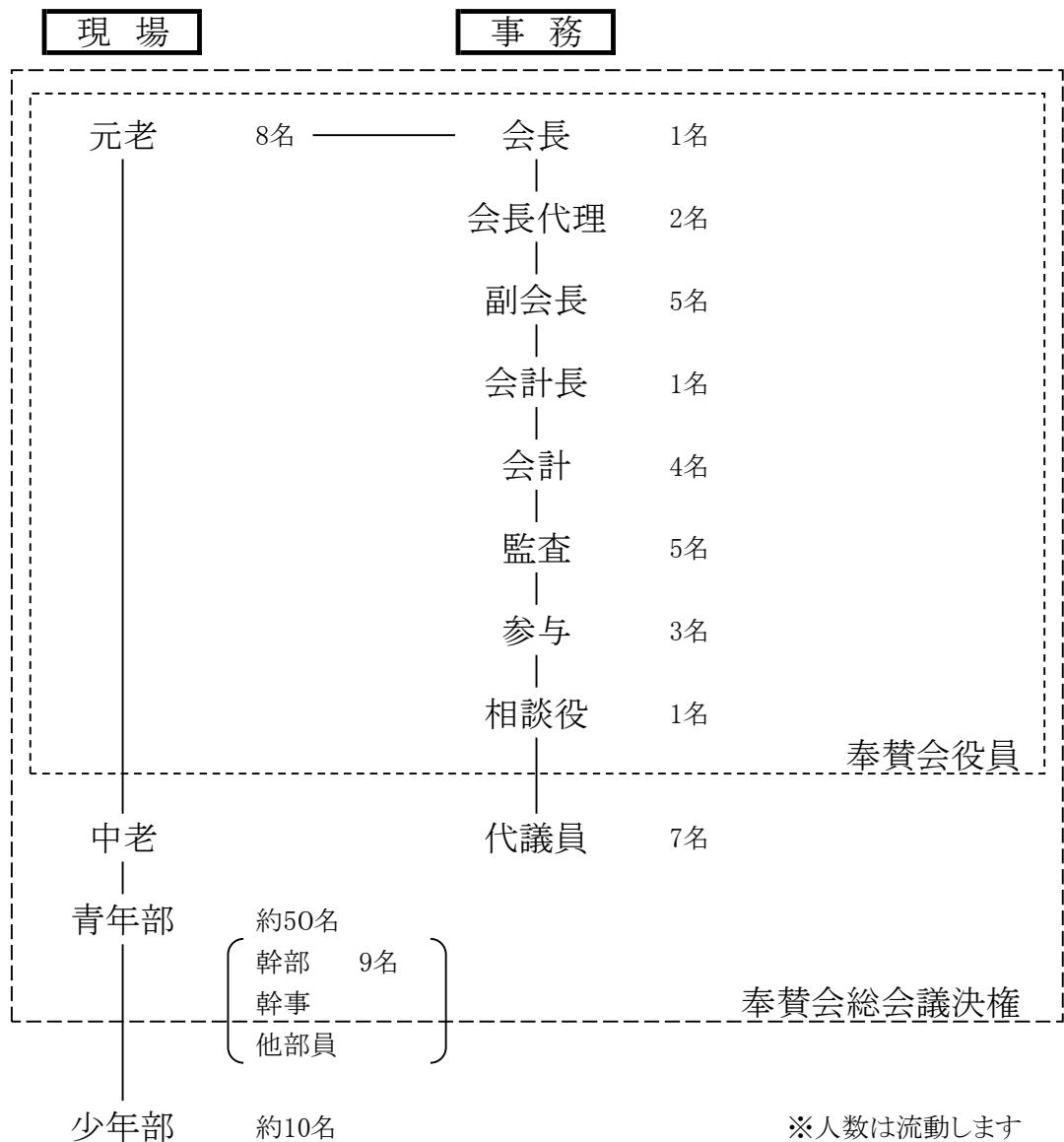
西之切青年部

③祭礼当日まで（●：青年部＝中学生以上のみ対象）

種別	項目	例年	本年
祭礼前	●役割発表	棒締めの前日（土曜）	同左＝25日（土）20:40
	●棒締め	祭礼当日1週間前（日曜）	同左＝26日（日）9:00～15:00
	地均し	・棒締め後 ・小学生も参加	同左＝26日（日）15:00～16:00 (昨年は青年部以上のみ)
	お獅子	祭礼前日（金曜）	同左＝5月31日（金）15:00～17:00
祭礼 当日	日時	6月1週目土曜・日曜	同左＝6月1日（土）・2日（日）8:00～22:00
	小学生	各囃子に従事	同左
	囃子	掛け声あり	同左
	●中高生	各囃子・二階師・綱に従事	同左
	●人形	複数回・複数箇所で実施	同左
	曳手 (保護者含)	制限なし	同左
	感染対策	なし	同左
	コース	自町・他町を2日間で曳行	同左（曳行図は別途配布）

以上

西之切須佐之男社奉贊会 組織図



【 西之切青年部規約<抜粋> 】

(青年部) 第十七条 本会の趣旨に賛同する中学生以上の青年で青年部を構成し、祭礼一切の技能の習得を行い、山車曳行の中堅的役割を果たす。青年部の幹部は、総会、代議員会および役員会に参画する。

(小学部) 第十八条 青年部の指導のもとに、小学生で小学部を構成し、お囃子の習得を行う。

以上

令和六年5月11日(土)

西之切 少年部 年間予定表

月	行 事	実 施 日	備 考
5 月	天王祭 稽古始め	ゴールデンウィーク明け頃から (獅子前日の木曜日まで毎日) 19:30~21:00(事前に連絡)	<ul style="list-style-type: none"> 稽古始めは大安もしくは友引。 稽古を行う場所は、西之切会館もしくは西之切町内のお宅。 (稽古場所詳細を都度配布します。)
	棒締め 地ならし	祭礼一週間前の日曜日(稽古中に連絡) 14:00~16:00頃	<ul style="list-style-type: none"> 棒締め(山車に楫棒を取り付け)後、昼14:00頃から地ならし(山車の試し曳き)を行います。 少年部は地ならしより参加し、地ならし中のお囃子と采振り人形を担当します。 この日の夜からお囃子の稽古は山車の中で行います。
6 月	獅子	6月第一土曜日の前日 15:00~17:00頃	<ul style="list-style-type: none"> お獅子で西之切町内を回ります。
	天王祭	前日:第一土曜日 集合~8:15、山車曳行=9:00~22:00 後日:第一日曜日 集合~8:15、山車曳行=8:30~22:00 ※ 集合時間は変更する場合があり、稽古中に連絡します。	<ul style="list-style-type: none"> 主な曳行先 前日:西之切町内及び古出来町方面。 後日:西之切町内、神明社、徳川園、明倫小学校及び大松方面。 衣装を借りられる人は後日曳行後に会館で着替えて帰宅してもらうので、 着替えを持ってきてください。翌日クリーニングに出します。 (後の朝に持参して会館に置いておく、もしくは曳行後に保護者の方からお渡しいただく)
	灯し上げ	15日(天王祭後日の解散時に連絡) 19:30~21:00	<ul style="list-style-type: none"> 本来天王祭は15日までのため、祭礼最終日に提灯で西の文字を表し、お囃子を奉納します。 (曜日に関係なく15日。)
8 月	納涼のタベ	第一日曜日 18:00~20:00(自由参加)	<ul style="list-style-type: none"> 青年部主催で模擬店を出します。お時間の都合がつく方は遊びに来てください。
	夏季稽古	毎週一回もしくは一週間集中 19:30~21:00	<ul style="list-style-type: none"> 実施曜日は、なるべくお盆休みにかかるよう設定します。
	お楽しみ会	下旬日曜日(事前に連絡) 午前中	<ul style="list-style-type: none"> 毎年色々行事内容を考えています。近年はボーリング大会を行っています。 (過去には、キャンプやバーベキューなども開催されました。)
9 月	名古屋まつり 稽古始め	下旬もしくは10月初旬から(2週間程度) 19:30~21:00 (事前に連絡)	<ul style="list-style-type: none"> 稽古始めは大安もしくは友引。 稽古を行う場所は、すべて西之切会館。 (天王祭のように西之切町内のお宅での稽古はありません。)
10 月	棒締め 地ならし	名古屋まつり一週間前の日曜日(稽古中に連絡) 14:00~16:00頃	<ul style="list-style-type: none"> 棒締め(山車に楫棒を取り付け)後、昼14:00頃から地ならし(山車の試し曳き)を行います。 少年部は地ならしより参加し、地ならし中のお囃子と采振り人形を担当します。 この日の夜からお囃子の稽古は山車の中で行います。
	獅子	名古屋まつり前日の土曜日 14:30~16:30頃	<ul style="list-style-type: none"> お獅子で西之切町内を回ります。
	名古屋まつり	第二日曜日もしくは第三日曜日 8:00~18:00頃	<ul style="list-style-type: none"> 開催日は名古屋市が決定します。 午前中は市役所から栄方面に曳行し、午後は建中寺前で行われる「なごやかまつりひがし」に参加します。 衣装を借りられる人は曳行後に会館で着替えて帰宅してください。
12 月	もちつき	30日(事前に連絡) 10:30~12:00頃(自由参加)	<ul style="list-style-type: none"> 西之切会館前でもちつきが行われ、神前にお餅をお供えします。 また、つきたてのお餅を皆で食べます。